

# 磐城時報

石城郡湯本町大字湯本の區會議事 石住村大字才鉢に巡査駐在所 員選舉は九月十六日執行する等 設置が益々急務となつたので 植 田警察署長より増設の申請をな したのが同所は現田人駐在所より 三里余離れ然も東白川郡境に 在り縣道七里の間一ヶ所の駐在 所もなく不便尠ならず地方民 有は多年その新設を切望してゐた 百九十六名である。

## 激烈な競争を豫想される

### 湯本區會議員改選

名簿調製が誤つたので 選舉は來る十月一日

石城郡湯本町大字湯本の區會議事 石住村大字才鉢に巡査駐在所 員選舉は九月十六日執行する等 設置が益々急務となつたので 植 田警察署長より増設の申請をな したのが同所は現田人駐在所より 三里余離れ然も東白川郡境に 在り縣道七里の間一ヶ所の駐在 所もなく不便尠ならず地方民 有は多年その新設を切望してゐた 百九十六名である。

## 磐陽クラブ主催で 教員體育講習會

二十日から三日間磐城中校で

陽俱樂部主催體育講習會は來る 二十日から三日間磐城中校で 校内に開く等受講者は小學教 員、青年團員等とし講習種目は 体操、球技、競技である。講師 左の如く、希望者は會費一圓五 十錢を添え第二校宛申し込むべ し。

會を開き、第五定置漁業權の申 請をなしてゐたが未だ何等の指 令がないので十六日更に芳賀組 合長から縣に認可促進方申請し て來たので縣では近く調査の上 可否を決定する。

## 青訓指導員囑托

石城郡湯本町青年訓練所は主事菅野 前校長の怠慢により本年一月以 降只の一回も訓練を行はず村民 より非常な批難を受けたが、今 回菅野氏（二六）が豫備砲兵少尉 に任官されたので指導員囑托し たが氏は熱心その衝に當るので 訓練生も喜んでその指導を受け てゐる。

## 提灯の置き忘れから 神谷村で火事

舊盆中は殊に注意せよ

神谷村大字中神谷石湯水車業で後に残された四兒と老母は途 佐藤安藏方から十六日夜十時半 頃發火、水車小屋、便所等を焼 失して鎮火したが原因は提灯の 置き忘れからである。石城地方 は舊盆になるとどんな家庭でも 提灯を燈すからその處置に誤り ないやうに注意して欲しいと平 署で語つてゐた。

## 四兒を捨て 畫家と家出

姪奔の寡婦

石城郡渡邊村柴田くま（三三）は 今春夫馬吉に死別後女の細腕一 本で四人の遺兒と老母を養つて 來たが最近同家に泊り合せた田 果兩袋飄網の定置により將來有 望なるを認めたので過般臨時總

## 警察を惱ましてゐた 天狗小僧捕はる

内郷で警官と格闘

石城郡夏井村賭博前科六犯天狗 查に抵抗し格闘の上逃走したが 事渡邊政吉（四〇）は一昨年十月 追跡して取押へ目下取調中であ る。

## 石城の慈雨

一坪一斗平均

石城郡湯本町一帶に訪れ先づ農作 物を蘇生せしめると共に飲料水 不足に喘ぐ平、湯本町に歡喜を 湧かした、午前八時頃の風は可 成り烈しく雨も亦多量に十時頃 に至り激衝計りの豪雨と化し 一時は出水の懸念さへあつたが それも一時間程で左程の暴風雨 ともならず過ぎ去つた、小名濱 湯本字天王崎竹林コク方の錠を 破つて忍び入り金品を物色中家 人に發見され逃走中の處十六日 十六日朝山形縣沖合の低氣壓 が秋田縣方面に進行した結果平 署に捕はれた。

## 泥棒盗難

鼻の薬「チクノール」 平五 山野邊藥局

田村郡大越村生れ當時湯本町字 天王崎居住入山炭礦第五坑後山 夫高橋行春（三〇）は七月二十 一日午前一時三十分頃湯本町大字 湯本字天王崎竹林コク方の錠を 破つて忍び入り金品を物色中家 人に發見され逃走中の處十六日 十六日朝山形縣沖合の低氣壓 が秋田縣方面に進行した結果平 署に捕はれた。

## 盆踊りの気分

純真そのものである

盆踊りに、踊らうと云ふ氣持 は極めて純である事を知り得 る、故に踊つてゐるものには 踊る以外に何等の野心を持つ てゐないものが先づ大多數で あると云つてよい、此点は往 時の盆踊りとは全然その行き 方を異にしてゐる。

之に對しては警察は絶えず取 締まつてゐるのであるが、而 しても其處に一般的自覺に待つ 義務あるものと思ふのである

乗合自動車

川へ墜落

数は實に五十余の多き上つて平間乗合自動車を好間村付内七... 奇蹟的に人無事

若人達の今晚から

三日間に亘って平町の火の波・人の海

農家の若人達が待ちに待った盆が来た、初秋の夜を踊り明かす盆盆はいよいよけふからである。

平町で新盆を迎える商店などは今十七日(舊の十三日)から三日間店内一杯盆提燈を飾り家の前に燈を立て踊り子達が陣をなし次から次へと踊り歩くのが常である。

平町は今晩の六時から街路の中央に最高三尺を限度に薪を積み重ねて火を焚き、黒煙は天を焦がさんばかり、消防組出動萬一を警戒する。

鮫川へ真逆様に墜落し車体を滅で業者者が不完全なる事を知り茶々に破損したが運轉手新野つとむは向は運轉せしめてゐたも及高木共奇蹟に微傷も負はなかつた。

客を乗せる

自動車の違反 自動車で負傷

新川柳

近 吉成 劍突坊

成るやうに成れど意氣地のない叫び

先き先と進み退く氣になれず百萬の都を揺れる風車

時報文藝

阿武隈川の記

正木 朝夫

舟を浮べ、秋は信濃川の流に花を影を眺め、夏は金の風をよ吹く

責任販賣

去る三月以來弊店發賣の大人革靴にて萬一三ヶ月以内に破損せし物有之候節は御遠なく御持參被下度即時新品と御取替申すべく候

平四ツルヤ

不思議な靈効を有する 養命酒 半月分一・五〇 一月分二・〇〇

平看護婦會 代理店 山野邊藥局

舊盆大興行

特作時代劇大會

新十六日 舊二十一日 替

水戸黄門

東海 松本 市川

牡丹燈籠

東野 舟子 春日 八郎

花吹雪新八

片桐 恒夫 若柳 三郎

有聲座

更なる新氣満天下を下す我等の快男君子が面目 香掛時次郎

吹雪峠

赤井美奈子嬢

紅屋の娘

料場入 二席大 四〇〇 小一〇〇